

平成31年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



四季の森

5月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>



体験を共有し、感情を共有する

校長 笹原 洋子

桜の花が散り、ツツジやハナミズキが今を盛りと咲いています。さわやかな青空の下、美しい花が咲き、心地よい風が吹く、気持ちのよい季節を迎えました。

さて、4月中旬に今年度初めての学校説明会、授業参観・懇談会を行いました。多くの保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。直接、お顔を見ながら話をすることで伝わることは多く、また、とても大切なことだと思います。年間に数回予定されていますので、是非、ご都合をつけてご来校いただけますようお願いいたします。

今年度の学校説明会では、「子ども達が『明日も来たい』と思う学校にしたい」ということと、そのために「教員と保護者が小さなことでも話をし、協力したい」とお伝えしました。どうぞ、ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

先日、「自尊感情（自分を大切に思う気持ち）が育つ学校づくり」というテーマで、日本ウェルネススポーツ大学教授 近藤 卓 氏の講演を聴く機会がありました。その講演の中で、「小中学校時代には、他者との比較ではなく、『ありのままの自分でいいんだ』と自分自身を支える気持ちを育ててほしい。」という話がありました。その気持ちは「**体験を共有し、感情を共有することで育つ。**」とのことでした。

例えば、

- 一緒にテレビを見ながら 同じ場面で笑ったり、涙を流したりする。
- 一緒に夕焼け空を見上げて、「きれいだね。」と感動する。
- 一緒にご飯を食べて、「おいしい。」と感じる。
- 同じ話を聞いて、「かわいそう」と共感し合う。
- 一緒にスポーツに打ち込み、勝利を共に喜ぶ。



家庭でも、学校でも、よくありそうな場面のように感じますが、慌ただしい生活の中で、こういったことを一緒に感じている時間が、減ってしまっていないだろうかと考えてしまいました。

5月になると、学校では6月1日（土）の運動会に向けての練習が本格化します。このような行事に向けての取組ではもちろん、日常の授業や生活の中でも、友達同士で、また、先生とも感情を共有する場面をたくさん作り、子ども達自身が自分のことを大切に思う気持ちを育てていきたいと考えています。ご家庭でもお子さんと体験を共有し、感情を共有することを意識していただけたらと思います。